

《1年生総合的な学習より》

1年生の総合学習のテーマは『自分たちの身の回りのSDGs』です。

前期は、『身近な人々の職業』について、調べたり、インタビューしたりする中で、仕事に対する思いにふれることができました。また、名古屋市内の施設や企業の“SDGs”について学ぶ研修に行ってきました。

後期は、『SDGsに関する岐阜県や各務原市の現状や取組について学び、身の回りにある課題を見つけ、自分には何ができるのかを考える』が課題です。1回目は、岐阜県庁の方から岐阜県の取組について講話を聞きました。岐阜県は、自然と人が創り出す世界に誇る『清流の国』に選ばれたそうです。



12月8日（金）の授業参観では、各務原市にゆかりのある川上貞奴さんを描いた“オペラ貞奴”を通して、生き方を表現した講話を実施しました。

《川上貞奴さんのプロフィール》

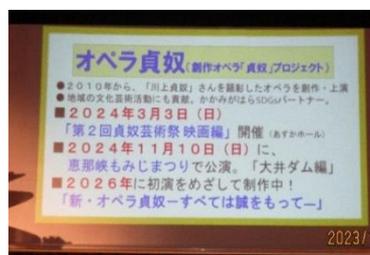
・1871年7月18日生まれ・日本初の近代女優・世界三大女優

《各務原市とのゆかり》

・女優引退後、人生の苦難の場面で自分を守ってくれたのは不動尊であると深く信仰し、鶯沼の地に自らの菩提樹・貞照寺と別荘・萬松園を建て、各務原市を終焉の地とした。

《女優引退後の功績》

- ・木曾川の水力発電事業への協力
- ・子どものための音楽活動→川上児童楽劇団結成
- ・地域の文化芸術活動にも貢献・女性の教育と自立への貢献



初めてオペラを交えて話を聞くことができうれしかったです。とても貴重な体験ができてありがとうございました。

講話を聞き、貞奴さんの努力がとてもよく伝わってきました。一人になっても男女差別を気にせず音二郎さんになんて変わって仕事をきちんとこなしている姿がすごいと思いました。

貞奴さんの生涯をオペラにして伝えようとした劇団の皆さんの思いが伝わってきて感動しました。

保護者の方からも、「迫力があってすごかったです。」や「オペラを聞くことが初めてだったので来て良かったです。」などの感想を頂きました。授業参観で、生徒と一緒に本物の良さを体感できる機会になって良かったです。今後もこのような文化的行事を取り入れていきたいです。

